

出場者・ボランティア スタッフ募集

あやせ国際フェスティバル

来年2月26日(日)にオーエンス文化会館で開催する、あやせ国際フェスティバルの出場者・ボランティアスタッフを募集します。

「つなげよう!ちがいを超えて 友だちの輪」をテーマに、スピーチやパフォーマンス、交流をとおして外国人と日本人が共に住みよいまちにしていくことを目的に開催します。

【出場者】▶スピーチ▷内容 外国人は日本語、日本人は外国語で発表▷持ち時間 約3分▷テーマ 自由▶パフォーマンス▷内容 世界の踊りや楽器演奏など▷持ち時間 約5分▷テーマ 自由▷その他 応募多数の場合、内容によっては偏らないように調整する場合あり▶対象 市内在住・在勤・在学か市内で活動している個人。国籍・年齢制限なし▶■ 12月16日までに同フェスティバル実行委員会事務局(市民協働課内) □su1140@city.ayase.kanagawa.jp か ☎70・5640

【当日ボランティアスタッフ】▶内容 会場の設営や入場整理、進行補助、飲食物配布など▶■ 事務局へ□か電話

保育所	①綾南保育園(上土棚南) ②大上保育園(大上) ③つぼみ保育園(深谷中) ④吉岡保育園(吉岡) ⑤おとぎ保育園(早川) ⑥深谷保育園(深谷上) ⑦さくらチャイルドセンター(寺尾西) ⑧綾瀬いずみ保育園(上土棚北) ⑨(仮称)綾瀬いずみ保育園式番館(上土棚北) ⑩ピピこどり保育園(吉岡) ⑪綾瀬ゆめっこ保育園(大上)	
対象	0歳(受け入れ可能月齢は施設による)~未就学の6歳児 ※保育所⑧は2歳児から、⑨は1歳児まで、⑩は2歳児まで。定員超過などで待機になる場合あり	
保育を必要とする事由	就労(夜間などを含む)、母親の妊娠・出産、保護者の疾病・障がい、同居が長期入院している親族の介護・看護、災害復旧、求職活動、就学、その他市が必要と認めた場合	
保育料	保護者(扶養義務者)の市民税課税額の合計で保育料を算定 ※来年4月~8月分は今年度の市民税課税額、9月~30年3月分は来年度の市民税課税額	
申込期間	11月1日~30日の8時30分~17時(土・日曜日、祝日を除く)	
■	市内保育所	10月17日から配付する申込用紙に記入し、就労証明書などを添えて子育て支援課へ直接(郵送不可)
	市外保育所	上記内容のほか、保育所の名称、申し込み期間・要件などを保育所がある市区町村で事前に確認要

11月7日から受付開始 来年度の保育所入所希望



保育所を来年4月から新たに利用を希望する場合、保育の必要性の認定(支給認定)を受ける必要があります。すでに支給認定を受けている方で有効期間満了か保育を必要とする事由の変更がある場合や、待機中で来年4月以降も利用を希望する方は、同様の手続きが必要で、現在、保育所に入所中の方は、継続入所に伴う更新手続きが必要になります。必要書類については、入所中の園をとおして11月頃から配付予定です。

私立幼稚園の入園手続き

は各園に直接行ってください。新制度に移行した幼稚園(ドレーパー記念幼稚園、

市社会福祉表彰式 26人17団体に表彰・感謝状

9月25日、社会福祉活動での功績が顕著な方や、寄付をした方の栄誉を称える市社会福祉表彰式を開催しました(順不同・敬称略)。
■市社会福祉協議会長表
美智子(落合北)▽濱元健次郎(綾西)▽比留川祥隆(深谷上)▽ハウオリカプウヴァイ▽ソノレウインドオーケストラ▽花アロハ綾瀬▽「希望の家」家族会▽赤いくつダンスポランテ
■市長表彰▽岩部清子(寺尾北)▽庄司文代(早川)▽大正琴・ベル・朗読劇団ONE♡ハート▽市山形県人会▽小島久美子(深谷上)▽伊藤法子(寺尾南)▽朝原優子(落合北)▽金子聖子(早川城山)▽中村葉子(早川)▽柏木裕子(深谷上)▽平本祐(大和市)▽清水理恵(海老名市)

■市社会福祉協議会長表
■感謝(社会福祉)
▽藤原百合子(落合南)▽幕田まさ子(深谷上)▽感謝(寄付)▽矢部光雄(大上)▽望月澄江住宅(株)▽釜田さわやかクラブ▽国際ソロプチミストあやせ▽戸大建設工業(株)▽エムケイチーズ(株)▽ハートライフクラブ綾瀬営業所▽東京キリンビバレッジサービス(株)大和営業所▽東ソー労働組合神奈川支部▽サントリビバレッジソリユートン(株)

綾瀬中央幼稚園)の入園を希望する方は、市の支給認定を受ける必要があります。すでに認定証を発行済みの方は、認定の確認を行います(書類は園をとおして配付予定)。
■子育て支援課 ☎70・5615。

観光まちづくり

~観光地ではない綾瀬の魅力~

市では「気軽に行ける非日常を感じられるまち」を目指し、ロケ地を巡るロケツーリズムや市初の観光集客イベントである光・食・文化の祭典、まち歩きやサイクルツアーなどのツーリズム事業を行うことで、綾瀬ならではの資源を生かしたオリジナルの事業を展開しています。

現在、観光振興計画で位置付けられている観光まちづくりを推進するために、市観光まちづくり組織設立準備委員会を発足し、観光事業を担う新たな組織の設立に向け、検討を重ねています。

観光地ではない綾瀬ならではの地域に根ざした取り組みをまちぐるみで行うことで、多くの観光客を獲得し、地域経済の活性化を図ることを目指しています。

■商業観光課 ☎70・5685。

あやせ スポレポ!



水泳協会
■稲川
☎77・0717

まちかど特派員 笹山真琴



市水泳協会では、水泳が市民の身近なスポーツとして親しんでもらえるよう、毎年夏季に親子水泳教室を開いており、「親子での時間の過ごし方の一つに、水泳があったらいいな」と思っています。平塚奈美子会長は話します。しぶきを上げて水に飛び込む子どもたちは笑顔いっぱい。それに負けず同協会会員も元気に指導していました。



同協会の歴史は昭和40年までさかのぼります。綾瀬町(当時)で初の水泳大会が開催された時は男子種目のみで、1人だけいた女子選手は男子と一緒に泳いだそうです。その後、水泳の普及を目的に、47年に婦人水泳教室と親子水泳教室を市教育委員会が開催し、53年の市制施行をきっかけに同協会が誕生しました。現在は11人の女性会員が中心となって活動しています。競泳やシンクロロナイズドスイミングの元選手だけでなく、大人になってから水泳を始めた方もいます。44年間の継続的な活動もあり、現在は本市出身の選手がジュニアオリンピックやインターハイなどで多数活躍しています。